



単位のイエ

北海学園大学 ガクナイコンペ Vol.15 課題 「単位のイエ」

モノにはさまざまな尺度があります。その概念は数万年にもかかり育われ、単純な長さや時間に始まり、重量、体積に至るとされています。建築と尺度(=スケール)は切り離せない関係にあり、それらを構成する単位もまた同様です。人が空間を感じる時、そこには常にスケールが存在し、心地よさや感動に起因します。人が建築を作る時、空間が求める「広さ」や「高さ」を考え、「縮小」した模型と図面で確認し、ひとつひとつ構成される部材の「大きさ」や「個数」を模索します。これらスケールや単位をきっかけに建築を探求してみましょう。

各自、任意の数字と単位を組み合わせて作品タイトルとし、それにふさわしいイエを提案して下さい。

例)「9 m の イエ」→ 9mの大きさは?高さなのか?何が9mなのか?例えば9m四方の平面を持つ家は普通の家より少し大きいとされる。

・「10° の イエ」→ 床が10°傾いている、それとも壁が傾いている?傾くことで何が起る?

・「5cm/sのイエ」→ 桜の花びらは5cm/sで舞い落ちるようだ。その速度を感じる家とはどのような形・空間になるのだろうか。

数字と単位を組み合わせ、それがどのような家なのか、そこで人はどう暮らすのか。そこで暮らすのは人なのか。寸法だけがスケールではありません。様々な単位を当てはめてみてください。私たちが想像する建築の領域をさらに押し広げることができるような、そんな建築が発見できることを楽しみにしています。想像力を膨らませ、「設計」を楽しんでみてください。

【開催日程】 2023年10月7日(土) 9:00 現地集合 9:00-9:30 課題説明 9:30-14:00 作品製作・提出
14:00-16:00 プレゼンテーション・審査 16:30-17:00 表彰式・記念撮影

【場所】 北海学園大学工学部校舎 4階製図室 札幌市中央区南26条西11丁目1-1

【参加資格】 北海学園大学・大学院に所属する学生

【持参物】 シャープペン、鉛筆、色鉛筆、消しゴム、三角スケール、定規など。会場にてA2サイズスケルトン紙(1人数枚程度)を提供します。昼食、防寒具等は各自用意。(気温により、製図室が寒くなる場合があります)

【提出物】 A2サイズスケルトン紙1枚に設計要旨と設計意図を説明する平面図・断面図・立面図や内外観スケッチなどを表現。模型、パソコン利用作品、印刷での提出は不可。

必須表現事項: ①敷地は自由ですがある程度想定して説明して下さい。(※具体的でも、空想上の敷地でも構いません)
②タイトルに好きな数字と単位を組み合わせを入れてください
③設計趣旨を簡潔に書いてください。(※文字数は自由)

【審査委員】 高木 貴間 (高木貴間建築設計事務所) 1998年卒業
山崎 貴生 (YKAA) 2014年卒業
成ヶ澤はるみ (Sa design office) 2014年卒業
河中 宗一郎 (株式会社日建設計) 2016年卒業

【副賞】

最優秀賞(1点)
STOOL 60 (artek)
designed by Alvar Aalto



パーチ材を直角に曲げる技術「L-レッグ」を応用した、あらゆる環境に馴染む普遍的なデザインの名作ツール。

奨励賞(1点)
Tempo drop
(Perrocaliente)



雫型のガラス容器に入った不思議な液体が、天候の変化に応じて様々な表情の結晶化を繰り返すオブジェ。

優秀賞(1点)
IN ATTESA (DANESE)
designed by Enzo Mari



紙くずを投げたときの放物線を受け止めるように角度のついたユニークなフォルムのトラッシュボックス。

審査委賞(4点)
cooko
(TRANPARAN)



計量カップとしても使えるポーター柄のガラスコップ。日常のドリンク容量が可視化されるユニークなプロダクト。